

地震による電気火災対策を！

～地震の時、自動で電気を遮断できる感震ブレーカーを設置しましょう。～

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が電気関係の出火でした。

地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や停電が復旧したときに発生する火災のことです。

「感震ブレーカー」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余地がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

分電盤タイプ (内蔵型)	分電盤タイプ (後付型)	コンセントタイプ	簡易タイプ
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断	分電盤に感知機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断
約5～8万円(標準的な物)	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある。	電気工事が不要

(注) 価格はあくまでも目安です。

※一般的なブレーカーは漏電には対応していますが、地震による火災には対応できません。また、感震ブレーカーにはさまざまな種類があり、取付方法や機能が異なりますので、各家庭にあったものを設置して、電気火災を防止しましょう。

8月は「電気使用安全月間」です。ご家庭でも安全点検を！

問 消防本部予防課 (☎3129)

介護保険料の 納入通知書を発送します

8月1日(木)に、65歳以上の方全員に介護保険料の納入通知書を発送します。また、今年度中に65歳になる方には、誕生月またはその翌月に発送します。

一人一人の保険料が大切な財源です。皆様のご協力をお願いします。

納付方法により通知書が異なります

▷年金天引き、口座振替の方

…3つ折りはがき

▷納付書で納める方

…緑色の窓開き封筒に入った納付書



問 高齢介護課 (内線237)

児童手当現況届の手続きは お済みですか？

■児童手当現況届

6月分以降の児童手当を引き続き受けるには「現況届」が必要です。**提出がない場合は、6月分以降の手当が受けられなくなります。**まだ提出していない方は、至急提出してください。

対象者は、令和元年5月末現在、市で児童手当を受給している全ての方です。

6月1日に「現況届」の案内を送りました。



問 子育て支援課 (内線181)